

シリーズ・学問小史 (5)

最近の認知科学図書目録

梅田 順一*

認知科学は、心理学・情報工学・生理学・哲学と非常に広い範囲にわたる学問分野に広がっている。そしてめざましい進歩を遂げ続けている。ここでは最近(1997～)の認知科学について書かれた図書、文献目録等を紹介する。各分野に分類して収録したが、学際的な認知科学の性格上、各分野にまたがるものも少なくない。

記述は書名, 著者・编者, 出版社, 出版年, ページ数, (明治大学図書館の請求記号) の順で、各分野内の配列は出版年の順である。

1 認知科学全般

1. 『認知科学：心の働きをさぐる』
村田厚生著, 朝倉書店, 1997.4 参考文献: p201-205
(401/943//S, 401/570//W)
2. 『「温かい認知」の心理学：認知と感情の融接現象の不思議』
海保博之編, 金子書房, 1997.7 文献: 巻末 p5-18
(141.5/67//H, 141/547//W)
3. 『アナロジーの力：認知科学の新しい探求』
キース・J・ホリオーク, ポール・サガード著, 鈴木宏昭, 河原哲雄監訳, 新曜社, 1998.6 参考文献: 巻末 p17-39 (141.5/72//H)

*うめだ・じゅんいち／和泉図書館

4. 『マインド：認知科学入門』
ポール・サガード著, 松原仁監訳, 共立出版, 1999.2 参考文献:p210-224,
参考図書:各章末, 認知科学の情報源リスト:p206-209 (141/204//S, 141.5/2//W)
5. 『認知研究の技法』シリーズ・心理学の技法
海保博之, 加藤隆編著, 福村出版, 1999.2 引用・参考文献:p194-202
(141.5/5//W)
6. 『現代の認知研究：21世紀に向けて』
梅本堯夫監修, 川口潤編, 培風館, 1999.3 引用文献:各章末
(141/208//S, 141.5/4//W)
7. 『認識と情報』リレー講義録総合人間学を求めて 1
有福孝岳編, 京都大学学術出版会, 1999.10 参考文献:各章末
(141.5/74//H, 141/216//S)
8. 『認知科学』
相場覚, 西川泰夫編著, 放送大学教育振興会, 2000.3 参考文献:各章末
(141.5/9//W)

2 人工知能・情報科学

1. 『人工知能』
菅原研次著, 森北出版, 1997.2 参考文献:p171-172
(401/369//H, 401/911/S, 401/567//W)
2. 『アナロジーによる機械翻訳』認知科学モノグラフ 4
佐藤理史著, 共立出版, 1997.4 参考文献:p125 (535.5/1386//S)
3. 『心をもつ機械：人工知能の誕生と進化』
スタン・フランクリン著, 林一訳, 三田出版会, 1997.10 参考文献:p625-641 (401/382//H, 401/949//S)

4. 『心の回路：認知タスクの計算理論へ向けて』
ヴァリアント・L 著, 桂井浩訳, 森北出版, 1997.10 参考文献:p217-228
(401/962//S)
5. 『適応エージェント』
山田誠二著, 共立出版, 1997.11 文献:p145-153
(401/967//S, 401/581//W)
6. 『エージェントアプローチ：人工知能』
ラッセル・S, ノーヴィグ・P 著, 古川康一監訳, 共立出版, 1997.12 参
考文献:p863-905 (401/957//S)
7. 『AIは予言する：人工知能がひらく驚異の世界』
飯田弘之著, エー・ジー, 1998.6 (401/388//H, 401/1003//S)
8. 『Logoで知る認知科学：工学のための教育メモランダム』
正田良著, 東京電機大学出版局, 1999.1 参考になる文献のメモ:p6
(007.6/2//S)
9. 『人工知能の基礎』
馬場口登, 山田誠二著, 昭晃堂, 1999.3 文献:各章末
(007.1/7//S, 007.1/3//W)
10. 『新しい人工知能 基本編』
前田隆, 青木文夫共著, オーム社, 1999.4 参考文献:p165-166
(007.1/9//S, 007.1/4//W)
11. 『ロボットはともだちだ!』
小林尚登著, オーム社, 1999.5 参考文献:p123-124 (548.3/26//S)
12. 『ロボットにつけるクスリ：誤解だらけのコンピュータサイエンス』
星野力著, アスキー出版, 2000.2 (007.1/68//S)
13. 『法律人工知能：法的知識の解明と法的推論の実現』
吉野一編者代表, 創成社, 2000.2 文献:p386-388
(320.7/61//H, 320.7/3//W)

14. 『新しい人工知能 発展編』
前田隆, 青木文夫共著, オーム社, 2000.3 参考文献:p189-190
(007.1/9//S)
15. 『知の創発: ロボットは知恵を獲得できるか』
伊藤宏司編著, NTT 出版, 2000.3 参考文献:各章末 (007.1/86//S)
16. 『ロボットにかける夢: 知と身体の調和をめざして』 岩波科学ライ
ブラリー 72
有本卓著, 岩波書店, 2000.3 参考文献:p127-131 (408/32//W)
17. 『ロボカップレスキュー: 緊急大規模災害救助への挑戦』
ロボカップ日本委員会編, 共立出版, 2000.5 参考文献:p255-262
(519.9/2//S)
18. 『計算論理に基づく推論ソフトウェア論』
山崎進著, コロナ社, 2000.5 引用・参考文献:各章末
(007.1/76//S, 007.1/14//W)
19. 『新世代工学シリーズ 人工知能』
溝口理一郎, 石田亨編, オーム社, 2000.6 参考文献:p160-163
(007.1/79//S)
20. 『エージェントテクノロジー最前線』
長尾確編著, 共立出版, 2000.7 文献:各章末 (007.1/85//S)
21. 『ファジィとソフトコンピューティングハンドブック』
日本ファジィ学会編集, 共立出版, 2000.9 参考文献:各章末
(410.9/23//S)
22. 『ロボットは心を持つか: サイバー意識論序説』
喜多村直著, 共立出版, 2000.11 参考文献:p201-205
(007.1/6//H, 007.1/94//S, 007.1/16//W)

3 哲学・進化論

1. 『認知哲学：脳科学から心の哲学へ』
ポール・M・チャーチランド著, 信原幸弘, 宮島昭二訳, 産業図書, 1997.9
文献案内:p439-442 (491.17/2//H, 491/628//S, 491.1/82//S)
2. 『志向性：心の哲学』
ジョン・R・サール著, 坂本百大監訳, 誠信書房, 1997.10 (801/912//W)
3. 『心はどこにあるのか』サイエンス・マスターズ 7
ダニエル・C・デネット著, 土屋俊訳, 草思社, 1997.11 わたしがすすめる本:p277-287 (141.5/69//H, 141/182//S, 141/551//W)
4. 『アフォーダンス』
佐々木正人ほか著, 青土社, 1997.11 初出一覧:p210
(141/184//S 141/552//W)
5. 『解明される意識』
ダニエル・C・デネット著, 山口泰司訳, 青土社, 1998.1 文献一覧:巻末
p19-41 (141.5/71//H, 090.4/Y37-7//H, 141/185//S, 141/556//W)
6. 『心-身のリアリズム』
種村完司著, 青木書店, 1998.5 参考文献:p207-210
(114.2/31//H, 114/256//W)
7. 『物質と意識』
池田昌昭著, 創風社, 1999.4 参考文献:p278-279 (111.6/10//H)
8. 『心の現代哲学』
信原幸弘著, 勁草書房, 1999.6 索引:巻末 p1-4, 文献:巻末 p5-14
(114.2/37//H, 114.2/3//W)
9. 『脳と生命と心』
養老孟司編, 哲学書房, 2000.4 (491.3/18//H, 491.3/475//S)

10. 『ミーム・マシーンとしての私 上,下』
スーザン・ブラックモア著, 垂水雄二訳, 草思社, 2000.7 邦訳されている参考文献: 下巻巻末 p5-7, 参考文献: 下巻巻末 p8-20
(361.4/617//H, 361.4/60//W)
11. 『魂(ソウル)から心(マインド)へ: 心理学の誕生』
エドワード・S・リード著, 村田純一, 染谷昌義, 鈴木貴之訳, 青土社, 2000.9
文献案内: 巻末 p14-60, 参考文献一覧: 巻末 p61-71 (140.2/39//H)
12. 『ギブソンの生態学的心理学: その哲学的・科学史的背景』
T. J. ロンバード著, 勁草書房, 2000.9 参考文献: p497-517 (141.2/59//H)
13. 『アフォーダンスの心理学: 生態心理学への道』
エドワード・S・リード著, 細田直哉訳, 新曜社, 2000.11 文献: 巻末 p15-38 (141.5/83//H)
14. 『ダーウィンの危険な思想: 生命の意味と進化』
ダニエル・C・デネット著, 山口泰司監訳, 石川幹人ほか訳, 青土社, 2001.1
参考文献: 巻末 p15-40

4 心理学

1. 『考えることの科学: 推論の認知心理学への招待』
市川伸一著, 中央公論社, 1997.2
(081.6/61//H, BC/1345//S, 081/210//W)
2. 『自閉症とマインド・ブラインドネス』
サイモン・バロン・コーエン著, 長野敬, 長畑正道, 今野義孝訳, 青土社, 1997.4 参考文献: 巻末 p5-21
3. 『認知心理学の視点: 理論と測定法』
長縄久生, 椎名乾平, 川崎恵里子編著, ナカニシヤ出版, 1997.8 文献
: p.240-257, 読書案内: 各章末 (141.5/68//H, 141/180//S, 141/548//W)

4. 『脳は絵をどのように理解するか：絵画の認知科学』
ロバート・L・ソルソ著, 鈴木光太郎, 小林哲生共訳, 新曜社, 1997.11
参考文献: 巻末 p9-13 (141/198//S)
5. 『心の理論：自閉症の視点から (上),(下)』
サイモン・バロン・コーエン, ヘレン・ターガー・フラスバーグ, ドナルド・J・コーエン編著, 田原俊司監訳, 八千代出版, 1997.11
6. 『認知心理学事典』
M.W. アイゼンク編, 野島久雄, 重野純, 半田智久訳, 新曜社, 1998.5 529p
(R141/6//H, R141/7//S)
7. 『確率の理解を巡る：3囚人問題とその周辺』 認知科学モノグラフ 10
市川伸一著, 共立出版, 1998.5 参考文献:p145-149 (418.7/153//S)
8. 『心理学の本全情報 93/97』
日外アソシエーツ株式会社編, 日外アソシエーツ, 1998.7 認知:p40-46
(140/12//J)
9. 『認知発達と生得性：心はどこから来るのか』
エルマン・Jほか著, 乾敏郎, 今井むつみ, 山下博志訳, 共立出版, 1998.7
参考文献:p293-326 (141/178//S)
10. 『現代心理学：その歴史と展望』
中西信男, 道又爾, 三川俊樹編著, ナカニシヤ出版, 1998.12 引用文献
:p267-278, 参考文献:p278-280 (140.2/1//W)
11. 『コミュニケーションの心理学：認知心理学・社会心理学・認知工
学からのアプローチ』
松尾太加志著, ナカニシヤ出版, 1999.3 引用文献:p221-229
(007.1/18//S, 007.1/5//W)
12. 『心の科学史：西洋心理学の源流と実験心理学の誕生』
高橋滯子, 東北大学出版会, 1999.10 引用文献:p259-269 (140.2/3//W)

13. 『比喩から学ぶ心理学：心理学理論の新しい見方』
田邊敏明著, 北大路書房, 2000.3 引用文献:p227-236 (140.1/10//W)
14. 『テキスト心理学：心の理解を求めて』
橋本憲尚編著, ミネルヴァ書房, 2000.3 学習参考図書, 引用文献:各章末 (140.1/11//W)
15. 『エコロジカル・マインド：知性と環境をつなぐ心理学』NHK ブックス 881
三嶋博之著, 日本放送出版協会, 2000.3 参考文献:p231-237, ブックガイド:p225-227 (141.2/3//W)
16. 『認知心理学ワークショップ：実験で学ぶ基礎知識』
西本武彦, 林静夫編, 早稲田大学出版部, 2000.3 引用文献・読書案内:各章末 (141.5/75//H, 141.5/7//W)
17. 『心の理論 心を読む心の科学』岩波科学ライブラリー 73
子安増生, 岩波書店, 2000.4 参考文献:p131-134 (408/32//W)
18. 『自閉症と心の発達：「心の理論」を越えて』
R. ピーター・ホブソン著, 木下孝司監訳, 学苑社, 2000.11 文献:p362-388 (493.9/2//H)

5 物理学・量子論

1. 『ペンローズの量子脳理論：21世紀を動かす心とコンピュータのサイエンス』
ロジャー・ペンローズ著, 竹内薫, 茂木健一郎訳・解説, 徳間書店, 1997.5
読書案内:p117-121, 参考文献:各章末 (421.3/492//S)
2. 『心の階梯』
アーウィン・スコット著, 伊藤源石訳, 産業図書, 1997.6 文献:p239-254
(141/176//S, 141/543//W)

3. 『クォークとジャガー：たゆみなく進化する複雑系』
マレイ・ゲルマン著, 野本陽代訳, 草思社, 1997.8 (404/252//S)
4. 『脳と心のバイオフィジックス』
松本修文担当編集, 共立出版, 1997.10 (491.3/302//S)
5. 『唯心論物理学の誕生：モノド・量子力学・相対性理論の統一モデルと観測問題の解決』
中込照明著, 海鳴社, 1998.1 参考文献:p187-188 (421.1/60//S, 421/455//W)
6. 『脳と心の量子論：場の量子論が解きあかす心の姿』
治部真里, 保江邦夫著, 講談社, 1998.5 参考文献:p260-263
(BB/1216//S)
7. 『心は量子で語れるか：21世紀物理の進むべき道をさぐる』
ロジャー・ペンローズ著, 中村和幸訳, 講談社, 1999.4 (BB/1251//S)
8. 『自己組織化と進化の論理：宇宙を貫く複雑系の法則』
スチュアート・カウフマン著, 米沢富美子監訳, 日本経済新聞社, 1999.9
(461.04/1//H, 461/94//S)
9. 『意識は科学で解き明かせるか：脳・意志・心に挑む物理学』
天外伺朗, 茂木健一郎著, 講談社, 2000.3 参考文献:p198 (BB/1285//S)
10. 『「心」はなぜ進化するのか：心・脳・意識の起源』
A.G. ケアンズ-スミス著, 北村美都穂訳, 青土社, 2000.9 参考文献:巻末
p12-28 (141.2/61//H)

6 脳・神経生理学

1. 『脳のしくみとはたらき：神経心理学からさぐる脳と心』
クリスティーヌ・テンブル著, 朝倉哲彦訳, 講談社, 1997.2 参考文献
:p301-314 (BB/1156//S)
2. 『最新脳科学：心と意識のハード・プロブレム』
矢沢サイエンスオフィス編集, 学習研究社, 1997.6 (491.3/319//K)

3. 『脳を観る：認知神経科学が明かす心の謎』
M・I・ポスナー,M・E・レイクル著,養老孟司,加藤雅子,笠井清登訳,
日経サイエンス社,1997.10 参考文献:p321-326 (491.3/323//S)
4. 『心を生んだ脳の38億年 ゲノムから進化を考える 4』
藤田哲也著,岩波書店,1997.10 読書案内:p189-192
(491.3/331//S, 491/661//W)
5. 『脳：最後の秘境への案内』
中原英臣,佐川峻著,グラフ社,1997.11 参考文献:巻末 (491/653//W)
6. 『視聴覚の認知科学』
淀川英司,東倉洋一,中根一成共著,電子情報通信学会,1998.3 参考文
献:各章末 (491.3/349//S, 491/669//W)
7. 『ここまでわかった脳と心 イミダス特別編集』
山下篤子訳,集英社,1998.9 (491.3/363//S)
8. 『ニューロンから心をさぐる』 岩波科学ライブラリー 64
櫻井芳雄著,岩波書店,1998.10, 参考文献:p117-119 (408/32//W)
9. 『視覚認知と聴覚認知』
斎藤秀昭,森見徳共編,オーム社,1999.2 参考文献:各章末 (141/206//S)
10. 『脳が心を生みだすとき』
スーザン・グリーンフィールド著,新井康允訳,草思社,1999.4
(491.3/393//S, 491.3/3//W)
11. 『心が脳を感じるとき』
茂木健一郎著,講談社,1999.7 参考文献:p250-253 (491.3/16//H)
12. 『脳のなかの幽霊』
V.S. ラマチャンドラン,サンドラ・ブレイクスリー著,山下篤子訳,角
川書店,1999.7 文献:巻末 p1-19 (491.3/461//S)

13. 『脳と心の地形図：思考・感情・意識の深淵に向かって』
リタ・カーター著, 藤井留美訳, 原書房, 1999.12
(491.3/432//S, 491.3/12//W)
14. 『意識の認知科学：心の神経基盤』
荳阪直行編著, 共立出版, 2000.8 参考文献:各章末 (141.5/12//W)

7 言語学

1. 『ことばの学習のパラドックス』 認知科学モノグラフ 5
今井むつみ著, 共立出版, 1997.6 参考文献:p209-221 (141/179//S)
2. 『対話と知：談話の認知科学入門』
茂呂雄二編, 新曜社, 1997.12 引用文献:各章末, 日本語談話研究文献案内:p203-222 (801.04/47//H, 801/918//W)
3. 『脳に挑む言語学』 岩波科学ライブラリー 59
萩原裕子, 岩波書店, 1998.2 (408/32//W)
4. 『認知言語学入門』
F. ウンゲラー, H.-J. シュミット著, 池上嘉彦ほか訳, 大修館書店, 1998.6
さらに理解を深めるための参考書目:各章末, 参考書目:p361-376
(801/251//H, 801/233//S, 801/928//W)
5. 『読み：脳と心の情報処理』
荳阪直行編, 朝倉書店, 1998.9 文献:各章末 (141.2/58//H, 141/201//S)
6. 『言語を獲得するコンピュータ』
錦見美貴子著, 共立出版, 1998.9 参考文献:p179-184 (401/1019//S)
7. 『文章理解についての認知心理学的研究：記憶と要約に関する実験と理解過程のモデル化』
邑本俊亮著, 風間書房, 1998.10 引用文献:p218-232 (801.04/48//H)
8. 『心のことば：心理学の言語・会話データ』
吉村浩一著, 培風館, 1998.10 引用文献:p154-160 (142/35//S)

9. 『ヒトはいかにして人となったか：言語と脳の共進化』
テレンス・W・ディーコン著, 金子隆芳訳, 新曜社, 1999.4 参考書: 巻末 p29-33, 文献: 巻末 p35-60 (491.3/15//H, 491.3/11//W)
10. 『認知的アプローチによる外国語教育』
竹内理編著, 松柏社, 2000.1 引用文献一覧: p142-159
(807/52//H, 807/73//W)
11. 『認知言語論』
定延利之著, 大修館書店, 2000.4 言及文献: p213-217 (801/973//W)
12. 『ヴァーチャルインファント：言語獲得の謎を解く』
須賀哲夫, 久野雅樹編著, 北大路書房, 2000.5 文献: p153-155 (801/976//W)
13. 『心の生得性：言語・概念獲得に生得的制約は必要か』
今井むつみ編著, 共立出版, 2000.8 参考文献: 各章末 (141.5/11//W)

8 動物行動学・比較認知科学

1. 『ハトがわかればヒトがみえる：比較認知科学への招待』
渡辺茂著, 共立出版, 1997.7 文献: p145-153 (481.7/85//S)
2. 『考えるサル：知能の進化論』
リチャード・バーン著, 小山高正, 伊藤紀子訳, 大月書店, 1998.2 参照
文献: 巻末 p1-14
3. 『霊長類動物の認知行動に関する研究』
金光義弘著, 風間書房, 1998.2 引用文献: p263-280 (489.9/28//S)
4. 『心の先史時代』
スティーヴン・ミズン著, 松浦俊輔, 牧野美佐緒訳, 青土社, 1998.8 文
献: 巻末 p8-34 (469.2/43//H, 469.2/13//S)
5. 『比較認知科学への招待：「こころ」の進化学』
藤田和生著, ナカニシヤ出版, 1998.10 引用文献: p213-236

6. 『人間がサルやコンピューターと違うホントの理由：脳・意識・知能の正体に科学が迫る』
ジェームス・トレフィル著, 家泰弘訳, 日本経済新聞社, 1999.2 参考文献:p334-339 (007.1/25//S)
7. 『意識する動物たち：判断するオウム、自覚するサル』
レスリー・J・ロジャース著, 長野敬, 赤松真紀訳, 青土社, 1999.6 参考文献:巻末 p6-17 (481.7/19//H)
8. 『自己の起源：比較認知科学からのアプローチ』
板倉昭二著, 金子書房, 1999.10 参考文献:p197-201
(489.9/21//H, 489.9/34//S)
9. 『心の比較認知科学』 ことばと心の発達 3
渡辺茂編, ミネルヴァ書房, 2000.2 引用文献:各章末

9 その他

1. 『合議の知を求めて：グループの意思決定』 認知科学モノグラフ 3
亀田達也著, 共立出版, 1997.2 参考文献:p141-149
(361.4/574//H, 361/712//S)
2. 『人の視点からみた人工物研究』 認知科学モノグラフ 6
原田悦子著, 日本認知科学会編, 共立出版, 1997.6 参考文献:p203-209
(501.8/327//S)
3. 『現代社会と人間：認知的社会臨床心理学』
岡林春雄著, 北樹出版, 1997.6 参考文献:p209-219
(361/2561//W, 361/766//S)
4. 『授業が変わる：認知心理学と教育実践が手を結ぶとき』
J.T. ブルーアー著, 松田文子, 森敏昭監訳, 北大路書房, 1997.9 引用文献:p269-282 (375.1/133//H, 375/294//S)

5. 『自己と感情：文化心理学による問いかけ』
北山忍著, 共立出版, 1998.1 引用文献:p191-212
(361/795//S, 361/2629//W)
6. 『もう一つの社会心理学：社会行動学の転換に向けて』
ガーゲン・ケネス・J 著, 杉万俊夫, 矢守克也, 渥美公秀監訳, ナカニシヤ出版, 1998.1 文献:p295-334
(361.5/569//H, 361/816//S, 361/2641//W)
7. 『教育の情報化と認知科学：教育の方法と技術の革新』
今栄国晴編著, 福村出版, 1998.8 (375/320//S)
8. 『科学を考える：人工知能からカルチュラル・スタディーズまで14の視点』
岡田猛編著, 北大路書房, 1999.1 引用文献:各章末
(404/286//S, 404/325//W)
9. 『科学が作られているとき：人類学的考察』
ブルーノ・ラトゥール著, 川崎勝, 高田紀代志訳, 産業図書, 1999.3 参考文献:p463-468 (401/1047//S, 401/606//W)
10. 『認知地図の空間分析』
若林芳樹著, 地人書房, 1999.11 文献:p267-307 (448.9/93//H)
11. 『協同の知を探る：創造的コラボレーションの認知科学』
植田一博, 岡田猛編著, 共立出版, 2000.11 参考文献:各章末
(141.5/82//H, 141/230//S)
12. 『インタラクション：人工知能と心』
上野直樹, 西阪仰著, 大修館書店, 2000.4 (141.5/76//H 141.5/8//W)

参考資料

1. 『書誌年鑑』
深井人詩編, 日外アソシエーツ
(025/1077//J, R025/33//S, R025/68//W)
2. 『心理学の本全情報 93/97』
日外アソシエーツ株式会社編, 日外アソシエーツ, 1998.7
(140/12//J, R140/21//W)
3. 『日本件名図書目録』
日外アソシエーツ株式会社編, 日外アソシエーツ
(025/1109//J, R025/32//S, R025/75//W)
4. 『翻訳図書目録』
日外アソシエーツ株式会社編, 日外アソシエーツ
(027/344//J, R027/15//W)